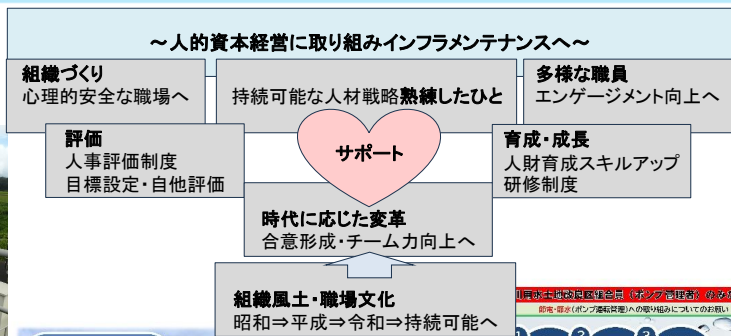




優秀賞



主体的に取り組む熟練・若手職員による合同研修と地域との協働取組に向けた啓発活動

農業農村
分野インフラメンテナンスを人的資本経営で向上
(人材戦略マネジメントからインフラメンテナンスへ)

取組概要

昭和30年代から通水を開始したかんがい用水施設『宮川用水』は、1市4町にまたがり約4500haの農地へ用水供給を行っている。そのインフラメンテナンスは『宮川用水土地改良区』が担っているが、通水から約70年が経ち、現在20名足らずの職員体制では限界を感じている中、職員採用等にも苦慮している。そこで限られた人材を最大限の人的資本として活用し、かんがい用水施設はもとより農村地域を支える営農・生活・環境・防災等の役割を担う持続可能なインフラとして次代につなげるよう取組んだ。

受賞理由

「人財育成スキルアップ研修」や「人事評価・サポート制度」を導入し、限られた人材を最大限の人的資本として活用することで、超過勤務時間の大幅な縮減や苦情や問合せも減少し、持続可能なインフラとして次代につなげる取組であることが評価された。

取組のポイント

インフラメンテナンスに対するこれまでの視点として、ハード整備とソフト連携などによる取組を進めてきたが、施設の特徴や経年変化そして時代の要請等からメンテナンスに関わる『熟練したひと』に着眼し、熟練者技術力の継承、若手職員の職員力向上等に取り組んだ。特に『育成』『評価』『サポート』の視点から職員の主体性の向上を目指す『人財育成スキルアップ研修制度』『人事評価・サポート制度』を取り入れ、熟練集団である『宮川用水土地改良区』の人材戦略として『人的資本経営』に取り組んだ。

受賞者について



受賞者

宮川用水土地改良区

コメント

この度、当土地改良区において「人的資本経営」として取り組んでいます「人財育成スキルアップ研修制度」、「人事評価・サポート制度」に多大なる評価と名誉ある賞を頂きありがとうございます。

農業水利施設は、食料の安定供給に欠くことのできない重要な社会資本であり、適正な保全管理とその体制を持って、次世代に引き継いで行かなくてはなりません。めまぐるしく変化する社会情勢の中、人口減少下における待ったなしの土地改良区運営基盤強化に向け、より一層技術力の継承と若手職員力の向上に取り組んで参ります。

団体概要

S32から国営宮川用水土地改良事業として大規模頭首工、幹線水路など農業水利施設に着手し、H7から同二期事業において調整池、施設更新などにより、県下有数の生産地約4500haへ安心安全な農業用水の供給を行い、効率的かつ安定的な農業経営に寄与しています。

問い合わせ先

宮川用水土地改良区（水土里ネット宮川用水）
〒516-0009 伊勢市河崎一丁目11番8号
☎0596-28-6177 Email info@miyagawayousui.or.jp